

日 本 史

I 次の文章〔1〕・〔2〕を読み、(a)～(t)の問いに答えよ。

〔1〕 日本における遺跡や遺物への関心は奈良時代以前にさかのぼる。『扶桑略記』という堀河天皇の時代に編纂された歴史書には、668年に崇福寺^①を建立しているときに地中から「宝鐸」が発見されたという記載がある。「宝鐸」は銅鐸^②の別名であり、『続日本紀』には「銅鐸」という表記が見られ、713年、現在の奈良県で銅鐸が地中から発見されたと記載されている。一方、五風土記のうち東海道に属する国について書かれた『A 国風土記』には、当時の A 国にある貝塚についての記載がある。

平安時代以降、地表で発見される B は空から降ってきたものだという記載が『続日本後紀』などに散見されるようになる。当時の朝廷は B の発見^③を凶事の予兆と認識し、勅令を出して異変に備えるよう命じた。石器が天から降ってくるものとみなす「石器天工説」と呼ばれる考え方は、近代考古学発達以前のヨーロッパでも一般化していた。

江戸時代には地中から発見される遺物を収集・研究し、遺物を歴史研究のなかで解釈しようとする学者も現れた。新井白石^④は石器天工説に対して異を唱え、人間が B をつくって使用したと考えた。また、儒学だけではなく本草学^⑤をおさめた松岡玄達^⑥はアイヌが B を使用していることを指摘した。「石の長者」と呼ばれるほど石器を多数収集した木内石亭も B 人工説を唱えた。

また、古代史に関する議論も活発になった。古瓦などの遺物を収集していた京都の藤貞幹は、神武天皇^⑥の在位を600年間繰り下げるなど、記紀の記述を考証する必要を説いた。本居宣長^⑦は逆に藤の考証の杜撰さを厳しく批判したが、上田秋成は藤を擁護した。

- (a) 下線部①に関連して、崇福寺は668年に天智天皇が即位した宮都に建立された寺である。この宮都は何という宮か。もっとも適当な名称を漢字4文字で答えよ。
- (b) 下線部②に関する説明として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉞ 銅鐸は朝鮮半島から輸入された青銅器で、日本列島で製作されたものはほとんどない。
- ㉟ 銅鐸は近畿地方よりも九州地方で発見されることが圧倒的に多い。
- ㊱ 島根県の加茂岩倉遺跡では銅鐸以外に銅剣が発見されている。
- ㊲ 銅鐸は弥生時代に使われた青銅器である。
- (c) 空欄 にあてはまる旧国名を答えよ。
- (d) 空欄 は矢の先につける石器だが、この石器を何というか。もっとも適当な名称を答えよ。
- (e) 空欄 が日本列島で使用され始めるのはいつの時代からか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉞ 旧石器時代 ㉟ 縄文時代 ㊱ 弥生時代 ㊲ 古墳時代
- (f) 下線部③に関連して、『続日本後紀』は六国史と呼ばれる史書の一つである。では、『続日本後紀』のあとを受けて、879年に成立した六国史の一つは何か。史書名を答えよ。
- (g) 下線部④に関連して、新井白石はイタリア人宣教師を尋問してその内容を『西洋紀聞』という書物に残した。近年、東京都文京区の遺跡で発掘された遺骨がそのイタリア人宣教師のものである可能性が非常に高いことがわかった。このイタリア人宣教師の名前を答えよ。
- (h) 下線部⑤に関連して、松岡玄達と同じく、儒学だけではなく本草学をおさめ、『大和本草』を著した江戸時代の学者は誰か。もっとも適当な人名を答えよ。

(i) 下線部⑥に関連して、江戸時代後半には神武天皇などの天皇陵に関する学問的な議論もさかんになった。当時、荒廃していた天皇陵を踏査して『山陵志』を著し、古墳の形状を「前方後円」と表現した学者として、もっとも適当な人名を下から一つ選び、記号で答えよ。

㉞ 高山彦九郎 ㉟ 蒲生君平 ㊱ 頼山陽 ㊲ 平田篤胤

(j) 下線部⑦に関連して、江戸時代後半には邪馬台国に関する考証も始まり、本居宣長も見解を発表したが、1784年に「漢委奴国王」印が出土したのは何という島か。漢字2文字で答えよ。

[2] 1877年来日した動物学者E. S. モースは、フロリダでの貝塚の発掘を知っており、来日直後、横浜駅から 駅に向かう汽車の車窓から貝塚^⑧を発見した。モースはこの貝塚から土器や石器を多数発掘することになる。明治時代、モースをはじめとする学者^⑨は皆、貝塚を残したのは日本人の祖先が居住する以前に日本列島に住んでいた別の人種だと考えていた。

大正時代から昭和時代初期には、日本列島には縄文時代^⑩から日本人の祖先にあたる人種が住んでいたという見方が支持されるようになる。弥生時代という時代認識が確立していくのもこの頃で、稲作^⑪や金属器^⑫などの新しい高度な文化が朝鮮半島^⑬や中国大陸から伝わって、縄文時代から弥生時代^⑭に変わっていくという見方が普及していく。水田跡は戦後まもなく発掘されたが、戦前にもその存在は確実視されていた。

^⑮旧石器時代の文化が日本列島に存在することは、戦前にも予想されていたが、その存在が明らかになったのは、戦後まもなく岩宿遺跡から石器が発掘されたからである。この発見によって、日本列島における人類の居住は旧石器時代にさかのぼることが確実になり、^⑯旧石器時代の人骨も発見されていった。

(k) 空欄 駅はモースが利用した鉄道ターミナル駅で、近年の発掘によって当時の駅構内の状況やその変遷が明らかになっている。この駅名を答えよ。

(l) 下線部⑧に関連して、モースが発見し発掘した貝塚の遺跡名を答えよ。

- (m) 下線部⑨に関連して、当時、明治政府から招聘された学者のなかには、モースによる貝塚の発掘に関心を抱いたものも多かった。ドイツから招かれてフォッサ=マグナの存在を指摘した地質学者もその一人である。その学者の名前を答えよ。
- (n) 下線部⑩に関連して、縄文時代の「縄文」とは縄文土器という土器の名称に由来するが、縄文土器に関する説明として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- ㊸ 最古の縄文土器は較正炭素年代法で約16500年前にさかのぼるとされた。
- ㊹ 旧石器時代にも土器が普及していたが、縄目の文様を施す土器ではないので、縄文土器とは呼ばない。
- ㊺ 縄文土器は、深鉢形土器、浅鉢形土器、甗、壺がセットで使われていた。
- ㊻ 本州で弥生土器が使われていた時代には、北海道では縄文土器の系譜を引く擦文土器が使われていた。
- (o) 下線部⑪に関連して、第二次世界大戦後、ある学者は『海上の道』を著し、稲作が南西諸島経由で南方から日本列島に伝わったことを説いた。農商務省の官僚として明治後期の農村を見聞し、雑誌『郷土研究』を主宰して日本民俗学を確立したこの学者は誰か。もっとも適当な人名を答えよ。
- (p) 下線部⑫に関連して、金属器が大量に発見された島根県荒神谷遺跡で出土していない金属器はどれか。下図から一つ選び、記号で答えよ。



㊸



㊹



㊺



㊻

(q) 下線部⑬に関連して、縄文時代の終わりから弥生時代にかけて朝鮮半島から伝わってきた九州北部の墓制を何というか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉞ 再葬墓 ㉟ 方形周溝墓 ㊱ 墳丘墓 ㊲ 支石墓

(r) 下線部⑭に関連して、1947年から1950年にかけて日本考古学協会が発掘調査を実施し、初めて水田跡が発掘された静岡県の遺跡を何というか。

(s) 下線部⑮に関連して、旧石器時代に関する説明として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉞ 旧石器時代には絶滅動物の化石が発見されているが、本州地方でもマンモスの化石が発見されている。
㉟ 旧石器時代は地質学的時代区分では更新世に相当する。
㊱ 日本列島には原人が居住していた確実な考古学的証拠がある。
㊲ 旧石器時代には火を利用した痕跡はない。

(t) 下線部⑯に関連して、旧石器時代のものとされていた人骨には、詳細な分析の結果、旧石器時代のものではないと考えられるにいたったものもある。現在、確実に旧石器時代のもものと認められる人骨が発見されている都道府県は次のうちどれか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉞ 東京都 ㉟ 福井県 ㊱ 兵庫県 ㊲ 沖縄県

(このページは空白)

Ⅱ 次の文章〔1〕・〔2〕を読み、(a)～(o)の問いに答えよ。なお、史料は読みやすく改めている箇所がある。

〔1〕 北畠親房の『神皇正統記』は、白河院政を次のように論評している。

「執柄（＝摂関）世をおこなはれしかど、・にてこそ天下の事は施行せられしに、この御時より・を重くせられしによりて、在位の君、また位にそなはり給へるばかりなり。」

ここに評されるように、院政期の政治は、前代の摂関政治があくまで既存の統治システムの範囲内での権力であったのに比べ、はるかに専制的な色彩を帯びていた。

しかし院政期は、一方では武家政権の台頭時期にあたっており、公家政権として支配の正当性をアピールする必要があった。このため、平氏政権の興亡から鎌倉幕府の確立にいたる後白河天皇（法皇）の治世には、と呼ばれる特別立法で王権としての政治理念が示された。また、一方の鎌倉幕府も、朝廷の発したの伝達・施行に留まらず、のちには幕府独自の立法としてを発するなど、幕府支配と朝廷支配は支配の正当性を競い合う関係となった。

このように、朝幕二元支配の状況が鎌倉時代を特徴づけるものであったが、1221年の承久の乱によって幕府の相対的な優位性が明らかとなった。北条時頼の時代にいたると、幕府みずから制度改革につとめる一方で、朝廷側にも政治の刷新と制度改革を求め、これを受けた上皇の院政下で院評定衆が設置された。さらに、元寇という国家的危機に際しては、幕府は安達泰盛の政治改革によって、また朝廷は統を開いた上皇の院政下で訴訟制度が整備されることによって、それぞれ政権としての説得性を高めようとした。

その後、幕府のたびたびの調停のもとに両統迭立状態が続くことになるが、統から即位した後醍醐天皇の治世について、『梅松論』は次のように論評している。

「ここに京都の聖断を聞きたてまつるに、・決断所ををかるといへども、近臣臨時に内奏を経て非義を申し行う間、綸言朝に變じ暮に改まりしほどに、諸人の浮沈、掌を返すがごとし。(中略)また天下一同の法をもての綸旨を下さるといへども、所帯をめさるる輩、恨みをふくむ時分、公家に口ずさみあり。」

あくまで室町幕府寄りの立場からの論評であることを念頭におけば、後醍醐親政が理念としては法や制度、機構を通じた支配をめざしていたにもかかわらず、^①実態においては近臣など人脈重視の政治となり、諸人の不平を募らせるにいたったこと、この二点がここから読み取れよう。

(a) 空欄・・・にあてはまる語句の組み合わせとして、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

㉞ A 律 B 令 C 格 D 式

㉟ A 外戚 B 受領 C 治天 D 院司

㊱ A 陣定 B 御前定 C 王法 D 仏法

㊲ A 宣旨 B 官符 C 院宣 D 庁御下文

(b) 空欄にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(c) 空欄にあてはまる、もっとも適当な上皇名を答えよ。

(d) 空欄にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(e) 空欄にあてはまる、もっとも適当な上皇名を答えよ。

(f) 空欄にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(g) 空欄にあてはまる、もっとも適当な語句を下から一つ選び、記号で答えよ。

㉞ 下地中分

㉟ 新恩

㊱ 安堵

㊲ 一期分

(h) 古代・中世史上の下線部①の事例として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊸ 桓武天皇は令外官として蔵人を設置し、藤原冬嗣を蔵人頭に任じた。
- ㊹ 北条泰時は執権とならぶ職として引付頭人をおき、叔父の時房をこれに任じた。
- ㊺ 足利尊氏は訴訟を裁許する権限を弟直義にゆだねた。
- ㊻ 室町幕府は村法として惣掟を制定した。

[2] 羽柴(豊臣)秀吉は1584年、 天皇から将軍への就任を請われたがこれを辞退し、翌85年、 に任じられた。1588年には に 天皇を招くなど、天皇の権威を利用しながら全国統一を進める一方、大陸への進出においては、 天皇を中国に移し、日本に新たな天皇を即位させる計画をも有していた。

江戸に幕府を開いた徳川氏は、大坂夏の陣直後の1615年7月、のちに禁中並公家諸法度と呼ばれる十七条からなる法度を、公家で幕府との取り次ぎにあたる に渡す形で発布したが、その条文には、次のようなものがあった。

(第一条)

一、天子諸芸能の事、第一御学問なり。(後略)

(第十六条)

一、 の寺、住持職、先規希有の事なり。近年猥りに勅許の事、且は藪次を乱し、且は官寺を汚し、はなはだしかるべからず。(後略)

また、1620年には徳川秀忠が娘和子を後水尾天皇に入内させ、それを機として、官位制度や改元など、^③朝廷が専権的に握ってきた権能行使に幕府の承諾を必要とするなど、統制を強めた。

しかし、家光時代に入ると朝幕関係にも変化が生じ、1640年代には日光例幣使創設とあわせて中絶していた伊勢例幣使の再興を認め、さらに、明清交代が一段落した東アジアの平和のなかで、綱吉時代の1687年には、霊元天皇の譲位後に、その悲願であった大嘗会が再興されるなど、朝幕協調路線を歩んだ。

江戸後期に入ると、国内外の危機が深まることと呼応して、天皇権威が浮上する。1787年、天明の飢饉時には数万人の民衆が御所のまわりに押し寄せて賽銭を投げ祈願をする「御所千度参り」が起こり、その翌々年、光格天皇は実父閑院宮典仁親王に「太上天皇」号を宣下したい旨幕府の同意を求めるが、松平定信はこれを拒否した。 らの公家はなおもこれを求めたため、1793年、定信は公家を処分した。しかし、1825年に が天皇を頂点に位置づける国体を説く『新論』を著すなど、しだいに尊王思想が浮上し、1840年、光格天皇の死に際しては、翌41年、実に数百年ぶりに「院」号ではなく「天皇」号がおくられることとなった。

(i) 空欄 ・ ・ ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊶ K 正親町 L 太政大臣 M 伏見城 N 後陽成
- ㊷ K 後陽成 L 関白 M 聚楽第 N 正親町
- ㊸ K 正親町 L 関白 M 聚楽第 N 後陽成
- ㊹ K 後陽成 L 太政大臣 M 大坂城 N 正親町

(j) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な役職名を答えよ。

(k) 下線部②に見える文言は、鎌倉時代の有職故実書『禁秘抄』の一節を引き写したものであった。この『禁秘抄』の著者は誰か。もっとも適当な人物の名を答えよ。

(l) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(m) 下線部③の両名の間誕生した天皇は誰か。天皇名を答えよ。

(n) 下線部④のできごとを何というか。漢字4文字で答えよ。

(o) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な人名を答えよ。

Ⅲ 次の文章を読み、(a)～(o)の問いに答えよ。

明治初期以来、概ね輸入超過が続いていた貿易収支は、生糸と鉱産物の輸出増大や、松方正義の財政緊縮と不況の影響による輸入減少によって、1882年には輸出超過^①に転じた。こうして、1880年代後半には日本経済はしだいに回復に向かい、株式会社設立のブームが起こった。これらの新興企業の多くは、積極的に設備投資を行い、近代的な工場制機械生産を開始した。とくに、紡績業では蒸気力などを用いた機械紡績が普及したが、その端緒となったのが、1882年に洪沢栄一が華族らの出資^②を得て設立した 会社であった。以後、鐘淵紡績会社などの大規模な紡績工場があいついで設けられ、従来からあった手紡や、 の発明したガラ紡などを効率の面で大きく引き離し、 年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回った。さらに、日清戦争後には、綿糸輸出税と綿花輸入税の撤廃もあって中国・朝鮮向けの輸出が拡大し、1897年、綿糸の輸出量が輸入量を上回るようになった。一方、輸出品の中核を占めてきた生糸生産の機械化は遅れていたが、1894年には器械製糸の生産量が、従来の手回しの把手でベルトを回す 製糸の生産量を凌駕し、大規模な製糸工場もつくられるようになった。熾烈な国際競争にも打ち勝って、とりわけアメリカ市場向けの輸出が大幅に発展した^③。

日清戦争後は軍備拡張や鉄道建設などのため、鉄の需要は増加する一方であったが、軽工業に比べて重工業の近代化はかなり遅れており、その大部分を輸入に頼らざるを得なかった。そこで、政府は基礎材料である鉄鋼の国産化をめざして、大規模な官営製鉄所として八幡製鉄所を設立した。この製鉄所は、ドイツの技術を取り入れて1901年開業し、清国の 鉱山の鉄鉱石を原材料とし、筑豊炭田の石炭を用いて鉄の生産にあたった。海運は、岩崎弥太郎の起こした三菱会社が政府の保護を受けて事業を拡大していたが、1885年には共同運輸会社と合併して、 会社となり、政府の助成を受けて外国航路の開拓を進めた。なかでも、 航路により、インドからの綿花の輸入が拡大した。

政府は、貿易や金融の面からも産業の振興をはかった。1880年に貿易金融を目的として設立された 銀行は、1887年に特殊銀行となり、輸出振興の面から日本銀行の役割を補佐した。また、輸出を促進するためには、円の価格を安定させる^⑤必要があった。当時の欧米諸国の多くは、金本位制を採用していたが、政府は1871

年に制定した 条例でその採用を決めたものの、金準備の不足のため確立することが困難となっていた。当時のアジア諸国の多くでは銀本位制が主流であったが、金銀相場の不安定さや外貨導入の不便さから、いっそうの貿易振興のためには金本位制への移行が急がれていた。金本位制を確立するに至ったのは、日清戦争での清国からの巨額の賠償金をもとに、1897年に 法を制定してからのことであつた。

(a) 下線部①に関連して、この政策によって、農産物価格は著しく下落し、多くの農民は困窮した。こうした農民によって各地で騒擾事件が引き起こされたが、このうち、困民党が組織され、自由政府の樹立が叫ばれた事件名として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊶ 大阪事件 ㊷ 秩父事件 ㊸ 高田事件 ㊹ 加波山事件

(b) 下線部②に関連して、機械紡績機のうち、アメリカで発明され、より糸と巻き取りを連続して行うことで熟練労働を不要とし、とくに1890年以降に普及した機械名として、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊶ ジェニー紡績機 ㊷ ミュール紡績機
㊸ リング紡績機 ㊹ オープンエンド紡績機

(c) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な会社名を答えよ。

(d) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な人名を答えよ。

(e) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な西暦年を答えよ。

(f) 空欄 にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(g) 下線部③に関連して、アメリカ市場において、日本産生糸は1880年代には急速にシェアを拡大し、それまで第一位だった国と入れ替わった。それまで第一位だった国はどこか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊶ 清 ㊷ スペイン ㊸ フランス ㊹ イギリス

(h) 下線部④に関連して、1881年に華族らの出資によって設立された最初の民間鉄道会社はどれか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㊶ 日本貨物鉄道会社 ㊷ 日本鉄道会社
㊸ 日本国有鉄道 ㊹ 関西鉄道会社

- (i) 空欄

E

 にあてはまる、もっとも適切な鉱山名を答えよ。
- (j) 空欄

F

 にあてはまる、もっとも適切な会社名を答えよ。
- (k) 空欄

G

 には当時、アラビア海に面した、インドの貿易港として栄えた都市名が入る。この都市名を答えよ。
- (l) 空欄

H

 にあてはまる、もっとも適切な銀行名を答えよ。
- (m) 下線部⑤に関連して、日本銀行に関する説明として、もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉔ 大隈重信大蔵卿の建議によって設立された中央銀行である。
 - ㉕ 銀行法によって設立された全額政府出資の銀行である。
 - ㉖ 1885年から大量の不換紙幣を発行し、インフレを招いた。
 - ㉗ 日本銀行設立に伴い、国立銀行は徐々に普通銀行になっていった。
- (n) 空欄

I

 にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。
- (o) 空欄

J

 にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。